



人権学習を通して考えたこと

1年生



《1年生の学習テーマ》

「いじめの構造」の学習

新型コロナウイルスをめぐる差別を
しない人に！



1:35 / 3:40



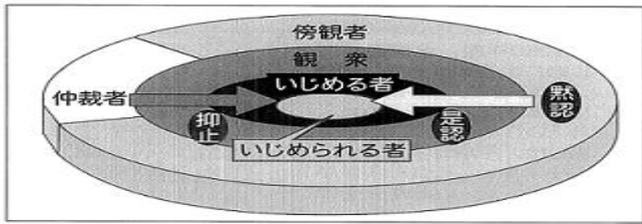
いじめは“いじめる人”と“いじめられる人”だけの問題ではなく、はやしたてたりおもしろがったりする“観衆”や見て見ぬふりをしたり脅えたりしている“傍観者”という集団の存在が問題であるという「いじめの構造」を学習しました。今回は1年生の学びの紹介です。（文章は一部編集しています）

☆いじめは、いじめられている人がいやな思いをしたら「いじめ」なので、相手の気持ちを考えて行動することが大切だと思った。周りで見て笑っている人もいじめに関わっていることが分かった。
(1組 女子)

☆いじめは、いじめる側の不満がたまっていくとしてしまうものだと思います。「〇〇ちゃん(くん)の～が嫌だな」というような不満をどうすればいいかが分からなくて、その不満を「いじめ」という形に変えてしまうんだと思います。だから、いじめという形になる前に、「〇〇ちゃん(くん)の～が嫌なんだけど、どうしたらいいかな？」と誰かに相談したらいいと思います。その相談された人は、ちゃんと聞いてあげて、どうすればいいのかわかるときは言ってあげる。わからないときは、「～すればいいんじゃない？なんで嫌なのかを考えようか」というように、一緒に相談者と考えたらいいいと思います。
(2組 女子)



☆ この勉強を通して、やっぱりいじめってだめだなって思ったし、そういういじめを見ているだけの人じゃなく、止める側になれるようがんばりたいと思います。
(2組 男子)



「いじめの構造」のイメージ図
問題が起こった時、自分はどの位置にいるのか
客観的に見られるようにしよう。

☆いじめについてよく分かりました。そして、僕はいじめなど、そんなことはしません。必ずそばで支えたり寄りそったりする人が必要だと思いました。(1組 男子)

☆いじめはやっている側とやられている側だけではなく、見ている人たちも関係あるって知った。もし、いじめを見つけたら、しっかり止める人になっていけるように頑張っていきたい。(1組 男子)

☆どんな理由があってもいじめをしてはいけなし、他人をまきこんでいじめたりするのも良くないと思った。また、「観衆」側にもなってはいけなし、いじめに気づいているのなら、傍観者になるのではなくて、誰か(大人)に言うのがいいと思った。(1組 女子)

☆新型コロナウイルス感染症の差別・偏見をなくすために、自分にできることは、自分が差別をしないこと、新型コロナウイルスについて詳しく知ること、温かい空気作りです。(3組 男子)

☆感染症に関する理解を深め、誰でも感染者になる可能性があることを忘れない。もし、感染者が友達だったとしても、助け合いができるような信頼関係を築く。そして、体調が悪くても「コロナだ」と決めつけない。(3組 女子)

わかびな学級



☆いじめは人の心を傷つけるから、平気で傷つける言葉を言わないこと。(1年生)

☆生まれてきたことは、すごいことだと思った。
人権は誰にでもある。人権を大事にしようと思った。(1年生)

☆誰でも生きる権利があるので、大切にしようと思った。(3年生)

